

7月の日経平均株価

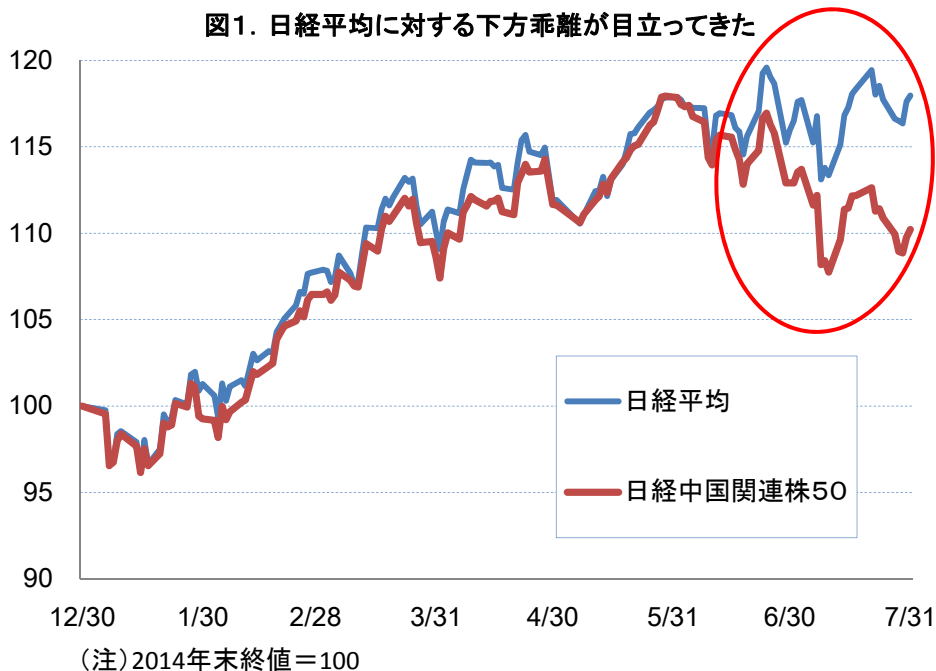
7月の日経平均株価は月末終値が2万585円24銭と、前月末に比べ349円51銭(1.73%)高となった。2カ月ぶりの上昇で、月末ベースとしては1997年6月以来の高値水準を回復した。8日には638円安と今年最大の下げ幅を記録するなど、ギリシャの債務問題と中国・上海株式市場の動揺に振り回されたが、EUによるギリシャ支援合意などを受けてリスクオンの動きが戻り、業績好調な内需株を中心に物色された。

今月のトピック: 試練迎えた? 日経中国関連株 50

日経中国関連株 50 がさえない。同指数の年初来のパフォーマンスはおおむね日経平均株価と同じ軌跡をたどってきたが、7月に入ってから日経平均に対する下方乖離が顕著になってきた。日経平均が6月24日に付けた年初来高値(2万868円)に対し99%値を戻したのに対し、日経中国関連株 50 の7月末終値は1687.15と、なお年初来高値(1805)から7%安い水準にとどまる。中国は上海総合指数が急落しただけでなく、24日発表になった7月の製造業購買担当者景気指数(PMI)速報値が1年3カ月ぶりの低水準に沈むなど、実態経済の悪化も顕在化し始めた。今後、中国景気は一段の悪化も懸念されており、中国関連株だけでなく日本株全体の重しとなる可能性も指摘されている。

日経中国関連株 50 は日本経済新聞社が2010年12月から算出・公表を始めた株価指数。中国事業を積極的に展開する国内の50銘柄で構成されている。日経平均など他の主要な株価指数に比べ大手製造業の比率が高いという特徴がある。構成銘柄の多くが輸出関連株として物色されることで、円安がテーマとなる相場展開では日経平均をアウトパフォームすることも多かった。だが、上海総合指数がピークアウトした6月中旬以降のパフォーマンスは徐々に日経平均に見劣りし始め、7月に入ってアンダーパフォームが一気に顕在化した。

どの銘柄が足を引っ張ったのか。上海総合指数が年初来高値を付けた6月12日を起点に、構成銘柄をマイナス寄与度の大きい順に並べたのが表1だ。上位には佳境を迎えた4~6月期の決算発表で、



中国要因による業績悪化が実際に確認された銘柄が並ぶ。マイナス寄与度トップだったのはファナック。7月28日に2016年3月期の連結純利益見通しを前期比23%減の1595億円と従来予想から300億円以上引き下げると、翌29日には一時14%安まで売り込まれた。中国でスマートフォンの金属ケースを加工する小型機械「ロボドリル」の受注が落ち込んだことが主因という。2位のパナソニックも中国市場でのエアコン不振などで4～6月期が連結営業減益になったことが失望売りを招いた。

半面、健闘しているのは小売りや食品、日用品など、従来は内需株と称された銘柄群。構成銘柄のなかでも、中国での売り上げ比率が相対的に低くだけでなく、「爆買」に象徴されるインバウンド消費の恩恵を受けている面もある。

中国株の急落は日本株にも深く影を落とした。だが、その影響は一様ではない。個別銘柄の動向を見る限り、日本の株式市場は企業のファンダメンタルズを見極める冷静さを失うまでには至っていないといえそうだ。

表1：構成銘柄の指数寄与度と騰落率

銘柄名	銘柄コード	寄与度	期間騰落率(%)
ファナック	6954	-14.45	-21.45
パナソニック	6752	-11.70	-17.77
三菱電	6503	-10.58	-20.81
ソニー	6758	-6.46	-6.69
三菱重	7011	-5.62	-15.28
ダイキン	6367	-5.30	-14.58
村田製	6981	-4.93	-7.60
JFE	5411	-4.61	-20.16
新日鉄住金	5401	-4.48	-12.68
伊藤忠	8001	-3.48	-9.13
コマツ	6301	-3.33	-10.47
キャノン	7751	-3.22	-4.74
東芝	6502	-3.03	-13.14
日立	6501	-2.84	-4.75
住友鋳	5713	-2.79	-16.58
：	：	：	：
味の素	2802	2.29	11.95
花王	4452	2.88	7.04
イオン	8267	3.39	16.49
セブン&アイ	3382	6.60	10.71
ファストリ	9983	6.82	16.29

(注)6月12日終値と7月31日終値を比較

日経指数月次サマリー(2015年7月)

(データは7月末時点)

指数名	指数値	月間騰落率	平均リターン	標準偏差	年初来高値	同日付	年初来安値	同日付
日経平均株価	20585.24	1.73%	0.12%	1.12%	20868.03	6月24日	16795.96	1月14日
JPX日経インデックス400	14961.66	1.67%	0.10%	1.05%	15159.05	6月24日	12308.20	1月7日
日経平均トータルリターン	30562.32	1.73%	0.13%	1.12%	30941.86	7月21日	24719.38	1月14日
日経平均ボラティリティ	17.57	-17.94%	0.22%	6.33%	26.58	1月6日	16.33	7月21日
日経平均VIX先物	19321.71	-13.18%	-0.35%	2.66%	50080.55	1月6日	19038.03	7月21日
日経平均ドルヘッジ	21880.22	1.74%	0.12%	1.13%	22179.49	6月24日	17851.30	1月14日
日経平均ユーロヘッジ	19271.98	1.72%	0.12%	1.13%	19531.69	6月24日	15690.33	1月14日
日経平均カバードコール	18073.18	1.99%	0.11%	0.98%	18242.04	6月24日	14648.80	1月14日
日経平均リスクコントロール	18339.97	1.12%	0.06%	0.69%	18586.71	6月24日	16255.58	1月14日
日経平均レバレッジ	17463.81	3.19%	0.24%	2.25%	18015.34	6月24日	11771.84	1月14日
日経平均インバース	2371.49	-1.97%	-0.12%	1.12%	2942.85	1月14日	2343.28	7月21日
日経平均ダブルインバース	2603.89	-4.17%	-0.24%	2.25%	4059.40	1月14日	2543.36	7月21日
日経株価指数300	337.06	1.97%	0.11%	1.05%	340.64	6月24日	274.44	1月14日
日経中国関連株50	1687.15	-2.38%	0.09%	1.06%	1805.35	5月29日	1471.94	1月14日
日経500種平均株価	1840.74	2.24%	0.13%	1.04%	1866.05	7月21日	1464.27	1月7日
日経JAPAN1000	1963.86	1.81%	0.11%	1.05%	1988.05	6月24日	1603.46	1月14日
日経ジャスダック平均株価	2793.06	2.75%	0.10%	0.65%	2847.99	7月21日	2329.73	2月3日

指数名	指数値	昨対比	最高値	同対象年	最安値	同対象年
日経配当指数	155.93	20.91%	155.93	2015	47.39	2002

注：平均リターン、標準偏差は過去1年の日次騰落率から算出
日経配当指数の昨対比は昨年7月末時点との比較、最高値、最安値は1998年以降の同時点の比較

【ディスクレーム】本資料は信頼できると思われる各種情報、データに基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性などに対して日本経済新聞社(日経)は責任を負いません。また本資料に記載された情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害について、日経は一切その責任を負いません。本資料は、常に最新の情報に更新されていることを保証せず、また予告なく変更することがあります。本資料の一切の権利は日経に属しており、本資料を無断で転載したり第三者にコピー等を流布することを禁じます。